

## JICA 大エジプト博物館開館に向けた支援

### — 「第二の太陽の船」復原、展示室への遺物移送実現へ —

大エジプト博物館(Grand Egyptian Museum: GEM)では、開館に向けて準備が進んでいます。JICA は、「第二の太陽の船」の復原に向けた支援を開始しました。また、付属の隣接する保存修復センターから実際の展示スペースへ、遺物の移送が行われていますが、JICA は、実施中の「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」の一環としてこの移送を支援しています。

GEM では、目玉展示の一つとして、別館「太陽の船展示棟(仮称)」にて、二隻のクフ王の船(太陽の船)を展示する予定です。そのうち「第二の太陽の船」の展示実現に向けて、JICA は、吉村作治教授が率いる NPO 法人太陽の船復原研究所による復原作業への支援を開始しました。

約 4500 年前に建造された太陽の船は、エジプト文明を支えたナイル川の水上交通の実態を示す証左として、また当時の人類がこれほどの木造技術を持っていたことを示す世界に類を見ない例として、ツタンカーメンの遺物と並ぶほどの価値を持つ至宝と考えられています。太陽の船は二隻並べて副葬されていましたが、「第一の太陽の船」が 1971 年に復原され一般公開されたのに対し、第二の太陽の船は 1987 年に著しく劣化した状態で発見され、復原は困難と考えられました。しかし、発見をした NPO 法人太陽の船復原研究所は、復原に向けて 2011 年から発掘作業を開始し、JICA は 2013 年から 2020 年にかけて、同研究所による部材取り上げ、測量、保存修復センターへの移送などに対し合計 2.3 億円の支援を行ってきました。これにより、13 層に重なっていた 1,700 近くの部材が全て発掘完了し、うち約 1,300 の部材が既に GEM へ移送されています。

今後は、復原に向けて、取り上げた各部材が「第二の太陽の船」のどこに該当するものかを判別し、組み立て復原設計図を作成し、組み立てていく必要があります。部材はそのまま組み立てることは困難な状態なので、原寸大の補強用型枠を製作し、部材を型枠にはめ込み接合して部位ごとに組み立てていく予定です。エジプト側からの要望を受けて、JICA は、この復原作業のため、NPO 法人太陽の船復原研究所に対して最大 7 年間、最大 2.9 億円の支援を行うことを決定し、この作業が始まりました。

GEM では現在、「太陽の船展示棟(仮称)」の建設が進っていますが、第二の太陽の船の復原作業は、この「太陽の船展示棟(仮称)」の中で、来場者に公開して行う予定です。

JICA は 2006 年に GEM 建設に対する円借款による協力を開始しました。2008 年からは、GEM 付属の保存修復センターの人材育成を目的として、エジプト側の専門家と共に文化遺産の保存修復に取り組む技術協力「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」を実施しています。

このプロジェクトでは、黄金のベッドなど、本物のツタンカーメンの遺物を中心とする 72 点を対象に、タハリールにある考古学博物館等から保存修復センターへの移送を行い、その後の保存修復に取り組ん

できました。保存修復を終えた遺物は順次、GEMに移送され、展示スペースに設置されています。

エジプト側の要望を受けて、プロジェクトでは、この移送も万全の体制で行うべく、重量物を安全に運べる機能の備わったトヨタ製の電動フォークリフトを日本から調達・供与しました。プロジェクトの対象遺物には、500 kgを超える非常に脆弱な古代の壁画や、最大辺 3.0m・梱包箱を含む重量 600 kg超のツタンカーメンのベッドや二輪馬車などが含まれます。供与したトヨタ製のフォークリフトには、転倒や荷崩れのリスクを低減する機能、ステアリング操作を制御する機能、旋回や移動の速度を制御する機能が備わっており、少しの破損も許されない貴重な遺物の移送に大きく貢献します。プロジェクト対象の 72 の遺物のみならず、GEMによるその他の展示物の移送にも活躍しています。

移送の専門家は、コロナウイルスのために日本から出張できない状況にあるものの、エジプト人チームによる移送計画の策定に助言を行うなど、遠隔での支援を行っています。

昨年4月、コロナウイルスの感染拡大の影響によりGEMの開館も延期となり、開館に向けた準備作業も一時はペースダウンしました。その後、感染対策も講じながら準備は着実に進んでいて、日本もこれに貢献しています。今後、感染状況も考慮しつつ可能な時期に、「第二の太陽の船」の復原に向けた支援開始を記念する式典を行うことも検討しています。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA エジプト事務所 羽岡智代（ハオカ チヨ）

TEL 0127-980-5825 e-mail : Haoka.Chiyo@jica.go.jp



保存修復センター内でのフォークリフト運転の様子



考古学博物館からの移送の様子



第二の太陽の船 保存修復作業



部材取り上げを終えた発掘現場